



背景・目的

- 脱炭素社会への移行に向けて必要な投資額は極めて巨額であり、すべてを公的資金でまかなうことは現実的ではない。グリーンファイナンスを活性化させ、ESG金融へシフトしていく必要。
- 我が国で圧倒的ウェイトを占める間接金融におけるESG融資の普及とともに、直接金融において先行しているESG投資の更なる加速化が不可欠。
- これを踏まえ、欧米を中心に急速に進展するグリーンファイナンスの諸外国動向調査、国内の脱炭素化事業に対する投融資の状況調査等を実施し、脱炭素社会に向けた我が国におけるESG投資・ESG融資の普及のための取組を支援する。

事業概要

- (1) 国際的なグリーンファイナンス関連情報収集分析事業
- (2) 国内におけるESG金融導入調査検討事業
- (3) ESG金融表彰制度・ESG金融ハイレベル・パネル運営業務
- (4) グリーンファイナンスに係るグリーンイノベーション動向調査等事業

事業目的・概要等

期待される効果

- グリーンファイナンスの活性化によるグリーンプロジェクトに対する民間資金の導入拡大。
- 国内や途上国における公的資金中心の支援から民間ファイナンスによるビジネス主導への転換により、地球規模の気候変動対策推進に貢献。

事業スキーム

委託対象：民間団体等 実施期間：31年度(2019年度)～33年度(2021年度)

(1) 国際的なグリーンファイナンス関連情報収集分析事業

- グリーンボンドを含むグリーンファイナンスに係る国際的な政策動向、国際機関の動向、投資家・金融機関等の取組事例等の収集・分析
- グリーンボンド・ガイドラインの改定検討等の我が国における環境整備
- グリーンファイナンスプラットフォーム(仮称)の整備、国内外への情報発信

(2) 国内におけるESG金融導入調査検討事業

- ① 地域ESG金融の取組事例収集・分析・普及支援
民間企業等によるグリーンファイナンス取組事例の調査分析
金融機関の事業性評価融資など国内の地域ESG金融に係るモデル的な取組事例調査、分析、取組支援
- ② 地域ESG金融の我が国における普及に向けた課題抽出、解決策の検討

(3) ESG金融表彰制度・ESG金融ハイレベル・パネル運営事業

- ① ESG金融表彰制度
ESG金融やグリーンプロジェクトに積極的に取組、環境・社会に優れたインパクトを与えた者の評価・表彰、情報発信
- ② ESG金融ハイレベル・パネル運営
ESG金融に関する意識と取組を高め行動する場として「ESG金融ハイレベル・パネル」を設置し、取組のフォローアップを実施。

(4) グリーンイノベーション動向等調査事業

グリーンファイナンスの重点投下対象となり得るイノベーションとそのファイナンスの状況等の動向調査、2019G20サミット及び環境・エネルギー大臣会合を受けたイノベーションとファイナンスに係る国内政策展開・各国連携策の検討。

イメージ